

給食だより

2023年もよろしくお願いたします

新年、明けましておめでとうございます。年末から寒い日が続いていますが、子どもたちの元気な姿、笑い声のおかげで給食室も笑顔で過ごしています。年末年始は、お正月ならではのおせちやお雑煮など、美味しいものを沢山食べたのではないのでしょうか。今年も、保育園でしっかりとあそび、しっかりと寝て、そしてしっかり食べて子どもたちが心も体も大きくなりますように。

1月の行事食

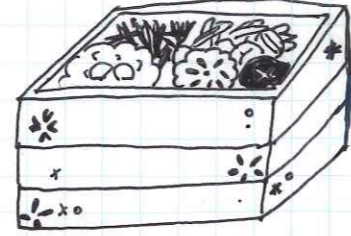
- 煮しめの具材にもひとつひとつ意味・由来があります
- ★ れんこん... 穴が空いているので、先を見る、将来の見通しがよくなる
 - ★ めでたい梅の花に貝立てた人参
 - ★ 子孫繁栄の子いも
 - ★ 一家繁栄、地に根づくごぼう 大豆

煮しめ
様々な食材を一つの鍋で一緒に煮て作ることから、家族が皆仲良く過ごせるようにという願いが込められています。

田づくり
田をつくるという名の通り、田んぼの肥料として使われていました。このことから豊年豊作の願いを込めて食べられます。

紅白なます
お祭りのごとのシンボルとされている糸と白の組み合わせのなます(人参と大根)です。細切りにして水引を煮味してはじきもあるそうです。

いきんどん
金回(きんどん)は、ごま油と栗の黄色から黄金に見立てられています。一年豊かに過ごせますように願いを込めて。



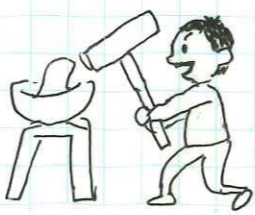
重箱は、「福」を重ねるという意味があります。

おせち料理

正月の料理として百から伝わるおせち料理。園でも、子どもたちに由来を伝えながら、華やかな重箱を囲んで食べる楽しさを感じられたらと思います。

もちつき大会について

感染症予防の観点から、12月のもちつき大会を延期とし、1月10日(火)に行います。園庭でお米を育てたり、止り呂美と稲刈りなどを楽しんだことから、同じお米でも、白米(五分搗米)もち米の違いを知り、興味関心が深まればよいと思います。



七草粥の種類と意味

七草の種類



セリ
新芽が競り合って育つことから勝負に勝つという意味が込められている。
〈食欲増進効果〉



なずな (別名: パンパン草)
撫でることによって汚れを取り除くという意味が込められている。
〈解毒作用〉



ごぎょう (別名: 母子草)
仏の体という意味が込められている。
〈咳や痰、のどの痛み効果がある〉



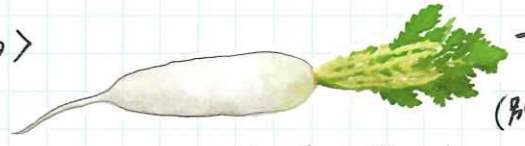
ほこべら
繁葉がほびにるといふ意味が込められている。
〈昔からの腹痛薬として使われている〉



ほとけのざ (別名: 小鬼田平子)
仏の安座(ゆくり座るといふ)を意味している。
〈食欲増進効果〉



すずな (別名: かぶ)
すずしろと共に給食で馴染みのある食材である。
神様を呼ぶ鈴という意味があります。
〈消化促進作用〉



すずしろ (別名: 大根)
すがすがしい程に白く、汚れのない清白という意味が込められています。
〈消化促進作用〉

1年の無病息災を願って七草粥を食べます!

クラスや給食室前にも七草について掲示しますので見てみてください。

1月の郷土料理: 秋田県

先月、子どもたちに大人気だった「からなます」のレシピを玄關で配布しています。

。だまこ鍋



ごはんを一つ、団子状にして、おぼろ汁のように入っているお鍋です。子どもが夢中になって食べることから「黙って食べる子」⇒「だま子」⇒「だまこ」になったと言われています。

。おやき



小麦粉から作られている有名な「信州おやき」と違って、秋田のおやきはもち米粉で作られています。中にはあんこを入れて、おやつに出します。